

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード 020307027
		施策	07	地域福祉の充実	本冊ページ 53
	関連個別計画				
担当部局		健康福祉部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		027	支えが必要な人が適切なサービスを受けられるよう相談支援体制を整え、必要な情報・サービスの提供に加えて、地域活動やボランティア活動への市民の参加を促すとともに、民生委員・児童委員活動をはじめとする各種活動への支援を行い、津市社会福祉協議会や福祉関係団体などと連携しながら地域特性に応じた福祉活動を充実します。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆	当初の事業実施計画		実施評価 事業評価
			誰	誰のための事業か	◇	事業評価の主な視点		
担当課	何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性				
027-1	社会福祉協議会運営補助事業	社会福祉協議会の法人運営事業費及び地域福祉活動事業費に対する補助	効	津市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、住民やボランティア、各種団体、福祉関係者などとともに地域福祉の推進を図るため設置された団体であり、津市と相互に連携・協働し、地域福祉の推進に資することができる。	◆	地域福祉の推進・充実	○	津市社協は様々な分野で地域福祉の推進を進めているため、「○」としたが、制度の狭間にある福祉課題に対応しきれていないといった課題もある。 少子高齢化や高齢者人口の増加に伴い、地域福祉の中心を担っている津市社協の重要性は今まで以上に高まっているため、今後、津市社協に対する補助事業については、より地域福祉の推進が図られるよう検証を進めていく。
	福祉政策課	何	補助金を受けることにより、地域福祉活動を推進することができる	348,822 (千円)	拡充・充実	○		
027-2	社会福祉施設等管理運営事業	津市河芸ほほえみセンターの適切な管理運営の実施	効	河芸ほほえみセンターの適正な維持管理を図ることにより、施設利用者の福祉の向上及び各福祉関係団体が当センターを拠点に活動することができる。	◆	施設利用者及び各福祉関係団体のニーズに応じた利用	○	利用者数も令和3年度と比較して増加しており、福祉関係団体の交流会や情報共有、ケース会議を開催するなど当該地域の福祉活動の拠点として機能するとともに、大きな要望や苦情も無く、効果が得られていることから「◎」とした。 今後も利用者のニーズに沿った施設運営に努め、一層の満足度・利便性の向上を図っていく。
	市民福祉課(河芸)	誰	施設利用者及び民児協河芸支部、河芸地区社協、河芸老連、身障福祉会河芸支部、母子父子寡婦福祉会河芸支部、社会福祉協議会河芸支部などの福祉関係団体	◇	利用者数及び利用者の意見(満足度、利便性等)	◎		
		何	施設利用者の福祉の向上及び施設を拠点として各福祉関係団体が活動することで、連携や情報共有が図れ、地域に根差した福祉活動を行うことができる	24,046 (千円)	現状維持			
027-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
027-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

施策の内容評価シート(令和4年度分)

027-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
027-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
027-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
027-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
027-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

